

2010年2月1日

出演者プロフィール

■エリック・オービエ Eric Aubier (トランペット)

1960年パリ生まれ。

トランペット科としては最年少である、14歳にして、パリ国立高等音楽院の名トランペット奏者モーリス・アンドレのクラスに入学。16歳でプルミエ・プリ（卒業試験の最高位）を獲得。

パリ音楽院卒業後、プラハ、パリ、トゥーロンの国際コンクールに入賞。

19歳でパリ・オペラ座管弦楽団の首席奏者に就任。

1995年以降、ソリストとして世界各地の著名オーケストラ、指揮者と協演など活躍を続ける。

フランスを代表するトランペット奏者として、ミュンヘンやパリ、その他数々の国際コンクールの審査員としても招かれており、南米ではエリック・オービエ・コンクールも開催されている。

現在は、フランスのリュエイユ・マルメゾン国立音楽院で教鞭を執る。

作品は、100曲以上。CDは20枚以上に及ぶ。

■ティエリー・エスケッシュ Thierry Escaich (オルガン)

1965年、ノジャン・シュール・マルヌ（フランス）生まれ。

パリ国立高等音楽院で学び、オルガン、作曲をはじめ、8つの学科でプルミエ・プリ（卒業試験の最高位）を獲得。

1989年以降アンドレ・ジョリベコンクール、フローランス・ブルメンタール財団コンクール他で大賞受賞のほか、ストラスブール国際コンクール即興部門で第一位最高賞を受賞。

1997年にパリのサン・テティエンヌ・デュ・モン教会のオルガン奏者に任命される。作曲家としての評価も高く、2003年、2006年には、フランスのクラシックコンクールである“ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック”で作曲家大賞を受賞する。作品は独奏曲から室内楽曲、そして交響曲を含めて60曲以上に及ぶ。

■菅原 淳^{すがはらあつし} (ティンパニ)

1947年、大阪府生まれ。東京芸術大学卒業。

フランス政府給費留学生として、パリ・コンセルバトワールに留学。1974年、ラ・ロッシュェル国際打楽器コンクール第1位。グループ「3マリンバ」、アンサンブル「ヴァン・ドリアン」を結成、作曲家に曲を委嘱し、数多くの日本初演をする。

1980年、パリで行われた国際打楽器コンクールの審査員を務める

中島健蔵賞受賞、文化庁芸術祭優秀賞受賞、第8回朝日現代音楽賞受賞などの受賞や、打楽器アンサンブル「パーカッション・ミュージアム」の主宰など各方面で活躍する。

読売日本交響楽団ティンパニ奏者を38年務め2007年6月に退団。

現在、東京音楽大学教授、尚美コンセルヴァトワール・ディプロマ講師